

暖炉のある部屋

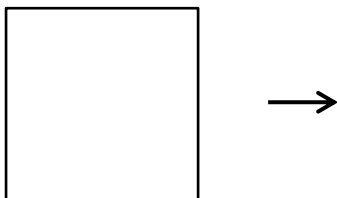
暖炉の前で 団欒の時間は楽しい物です。

暖炉の模様（レンガ）を作ります。

「塗りつぶし：パターン」で レンガがありますが 暖炉に使うには小さすぎます。

①レンガにする画像を作ります。グリッド線を利用してもいいでしょう。

黒の四角形の上を書く長方形は 約5×13 ぐらいの大きさにします。

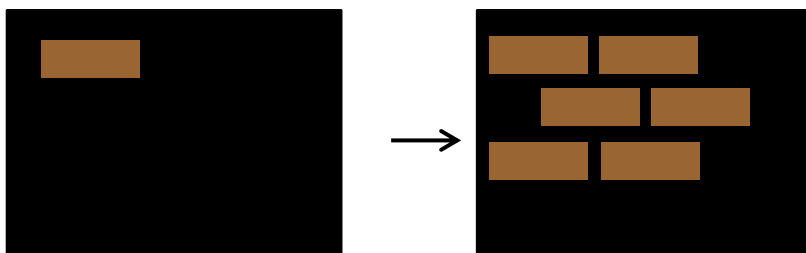


暖炉のテクスチャーを作る。黒の背景の上に先ほどのレンガを置きます。

Shift キーと ctrl キーを押しながら並行にコピーし「グループ化」

更に Shift キーと ctrl キーを押しながら垂直に三列コピーし「配置」「上下に整列」し

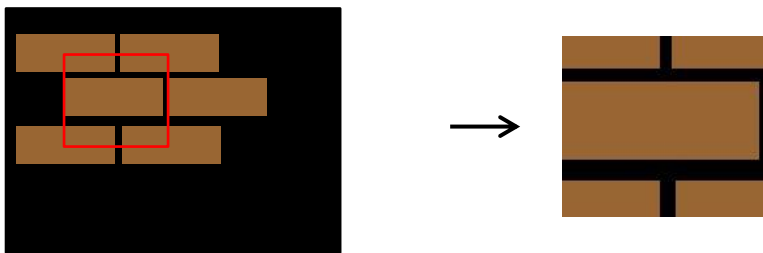
真ん中の一行をずらします



部分的に切り取ります。

(Snipping Tool で拡大表示してから部分的に切り取る)

長方形の左側に黒線が入らないように切り取ります。



②作成した画像を テクスチャーで取り込みます。

レンガの模様が大きい場合は 幅と高さの%を縮小します。

四角形を描き右クリック「図形の書式設定：塗りつぶし（図またはテクスチャー）」

「図をテクスチャーとして並べる」にチェックをいれ「ファイル」、幅・高さの調整の%を変えて

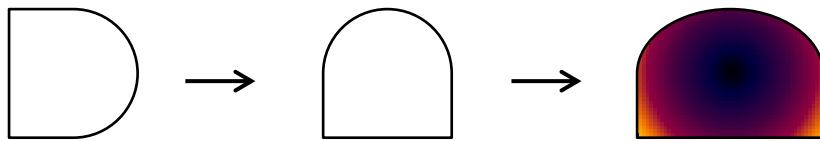
ちょうど良い大きさにしましょう



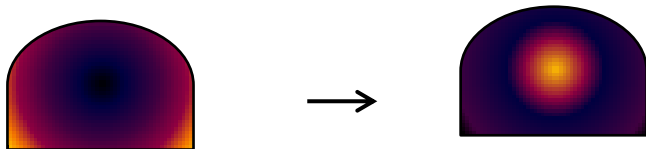
③マキと炎を描き 暖炉を完成させます。

「フロチャート」「倫理積ゲート」を「左 90 度回転」横幅を広げます

グラデーションの標準スタイルより日暮れを選択。種類 放射、 方向 中央から

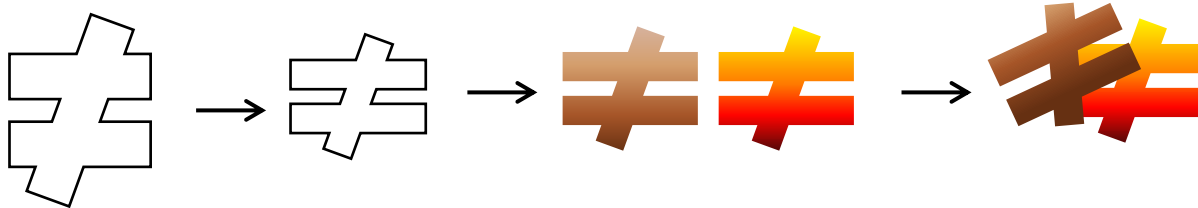


「塗りつぶし：グラデーション」で 中央を明るくします。 両サイドの色をドラックして位置を変えます
右から二番目の色は削除。残りの 3 色は位置調整を下記のようにしましょう

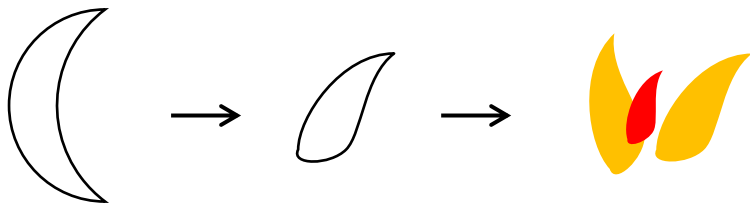


マキと炎

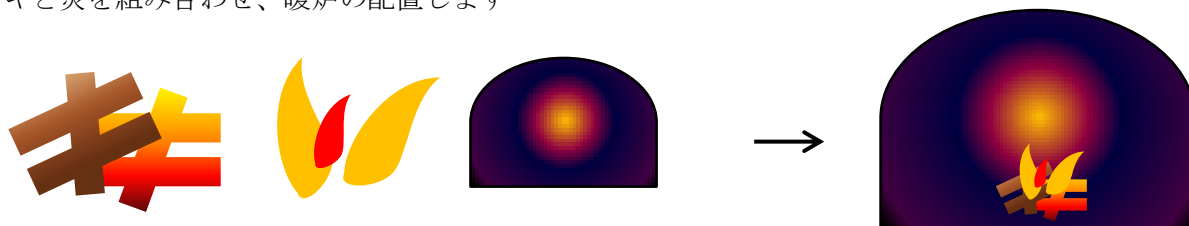
「数式図形」「不等号」横幅を広げます。塗りつぶしの色は「グラデーション」「標準のスタイル」より
「マホガニー」と「炎」で二種類描き重ねます。



「月」から下の頂点を削除し炎を描きます



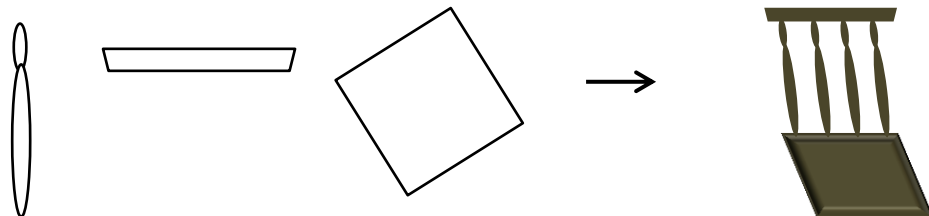
マキと炎を組み合わせ、暖炉の配置します



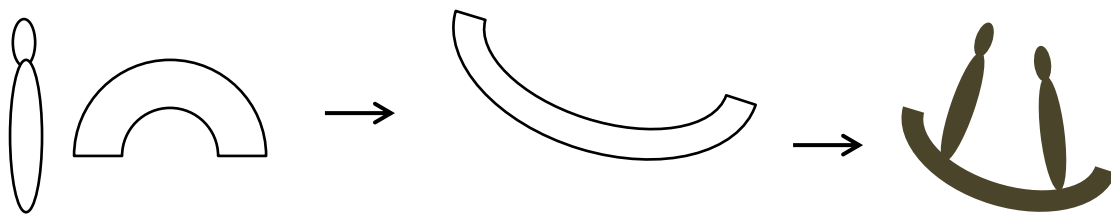
④ロッキングチェアを描く。

使用する図形、円 台形 平行四辺形 アーチ

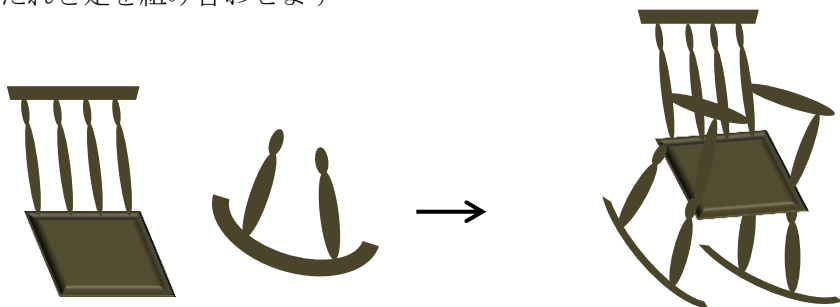
各々の図形を少しづつ変形しながら部品を作ります。平行四辺形は「図形の効果」「面取り」「ソフトランド」
描く大きさによって 「面取り」幅が 違ってくるとお思いますので オプションで修正します。



足の部分。楕円 アーチ。アーチは上下反転し調整ハンドルで下図のようにします



背もたれと足を組み合わせます



⑤背景

部屋の壁や じゅうたんなどお好きな模様・色 で塗りつぶしましょう。

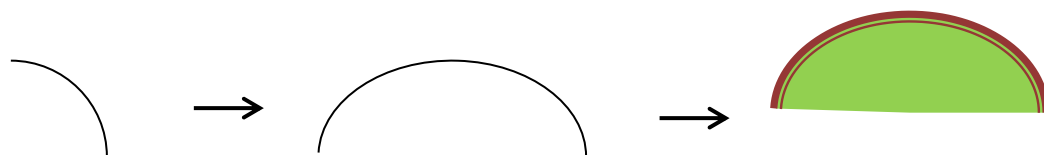
参考：壁はテクスチャーからひな形、床は「グラデーション」「標準スタイル」「ゴールド」



少し小物も取り入れてみました。

絨毯：円弧を利用し調整ハンドルを移動し下図のようにします

線の太さ変更 任意の色をつけます



壁とじゅうたんの境に 太めの直線をひいてあります。

各パーツを配置し完成です

